

弘前大学医学部附属病院で診療を受けられた皆様へ

当院では下記の臨床研究に用いるため、患者さんの試料・情報を利用させていただいておりますので、お知らせいたします。

臨床研究名称： 食道癌手術における Circular Stapler を用いた器械吻合の有用性の検討

研究の目的

食道癌手術における術後合併症は他の消化器癌手術に比べて発生頻度が高いとされています。中でも縫合不全や吻合部狭窄などの食道再建に関する合併症は術後の在院期間の延長のみならず QOL や予後にも大きな影響を与える可能性があります。

食道切除後の再建法としては頸部食道胃管吻合が一般的であるが、吻合法には手縫い吻合や Circular Stapler を用いた器械吻合(CS 吻合)がありますが、最適な方法は確立していません。

そこで、縫合不全や吻合部狭窄等の術後合併症や術後の栄養状態の推移を CS 吻合と手縫い吻合を比較することで CS 吻合の有用性を検討することを目的としています。

研究実施期間： 実施許可日 ～ 2024 年 12 月 31 日

対象となる方： 2014 年 1 月 1 日から 2024 年 8 月 31 日までの期間内に、当院消化器外科において、食道癌に対して根治手術を行った方。

利用させていただきたい試料・情報について

(他機関に提供する場合、提供先機関の名称及び当該機関の研究責任者氏名含む)

当院の診療録より、年齢や性別、身長、体重等の臨床所見、血液検査所見、手術所見、病理所見、縫合不全や吻合部狭窄の術後合併症の有無、術後在院日数などの情報を標記研究課題実施のために利用します。

具体的には、食道癌根治手術を行った患者を CS 吻合群と手縫い吻合群の 2 群間に分類し、縫合不全や吻合部狭窄等の術後合併症の発生率や栄養指標の推移について、統計解析的手法を用いて比較することで、食道癌手術における CS 吻合の有用性を明らかにしたいと思います。

なお、利用に当たっては氏名、住所、電話番号、患者番号等個人を特定できる情報を削除し、本研究のための固有の番号を付して(これを匿名化といいます)、行います。研究成果については、学会発表や論文投稿等の方法で公表されますが、その内容から対象者個人が特定される事はありません。研究から得られた個別の結果については原則としてお答えしませんが、希望される方は下記連絡先までご連絡ください。

本研究課題について、より詳細な内容をお知りになりたい場合や、試料・情報の利用に同意いただけない患者さん/その代理人の方は、以下の連絡先までご連絡ください。

研究への利用に同意いただけない場合、当該患者さんの試料・情報については対象から除外します。ただし、連絡いただいた時点で既に研究成果公表済の場合は、該当者のデータのみを削除する等の対応は出来かねますので、ご了承願います。

本件連絡先	弘前大学医学部附属病院 消化器外科、乳腺外科、甲状腺外科 室谷隆裕 電話番号： 0172-39-5079 メールアドレス： muroyat@hirosaki-u.ac.jp
--------------	--